

【評価実施概要】

事業所番号	0770900215		
法人名	有限会社エクセル		
事業所名	グループホーム えくせる		
所在地	〒976-0016 福島県相馬市沖の内三丁目7番6号 (電話) 0244-36-4490		
評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8043 福島県福島市中町4-20 みんなゆうビル302号室		
訪問調査日	平成20年4月14日	評価確定日	平成20年5月26日

【情報提供票より】 (平成20年3月7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年 1月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9人
職員数	13人 常勤 9人, 非常勤 4人, 常勤換算 5.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	2階建ての 1～2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,440円	その他の経費(月額)	水道光熱費 11,704円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	150円	昼食 300円
	夕食	350円	おやつ 50円
	または1日当たり		850円

(4) 利用者の概要

利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	0名	要介護2	2名
要介護3	2名	要介護4	3名
要介護5	2名	要支援2	0名
年齢	平均 83.3歳	最低 65歳	最高 93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大石医院、山下歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街にある設立7年目の1ユニットのホームである。建物は一般の木造2階建住宅を改築したもので、外回りや内部も一般家庭そのまま、居室や共用空間には襖や障子があり、とても家庭的な雰囲気である。また、近くには公園や高校があり、地域的にも恵まれた環境である。管理者はじめ職員が積極的に地域との交流に努め、現在では地域に溶け込み地域住民との交流も良好で、特に高校の福祉科の生徒さんとの交流が盛んで、常にボランティアとしてホームの行事に参加し、また実習の受け入れをし相互に支援し合い、理想的な交流ができています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価の結果を全職員で話し合い、改善に向けて検討されており、重度化に伴う家族の意思の確認書を作成し、全職員で共有を図っている。また、災害時の食料品、飲料水等については備蓄されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者や職員は自己評価の意義を十分に理解し、自己評価には全職員で取り組み、改善すべき事項については見直しを行い、サービスの質の向上に努めている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5)
	運営推進会議の内容は利用者の状況、運営報告、行事報告、防災訓練、ボランティアの受入、地域行事への参加等多岐にわたっており、回を重ねるごとに参加者の理解が得られ、いろいろな意見や助言があり、充実してきている。しかし定期的に開催しているが、2ヶ月に1度の開催とはなっていない。今後は計画的に概ね2ヶ月に1度の原則に従い、開催されることが望ましい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ホームだよりを作成し、ホームの行事や利用者の身体状況等を家族に知らせている。また、家族会をつくり、年2回家族の意見を聞く機会を設けている。運営推進会議には家族の参加が多く意見や思いも容易に把握できるようになっている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、地域の行事(清掃活動、運動会、夏祭り等)には積極的に参加し、ホームの行事は近隣住民に呼びかけ参加してもらい、相互に交流している。また、ボランティア(ハーモニカ演奏、手品、歌等)も多数受け入れており、事業所と地域住民との双方向のコミュニケーションが確立している。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念の他に地域密着型サービスをふまえた理念を作成しており、日々のケアの指針としている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員が日々理念の共有に努め、サービス提供の場で理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており各種行事に積極的に参加し、友好的関係を築いている。また、ボランティアの受け入れも積極的に行っており、特に高校生のボランティアについては高校生からも利用者からも好評である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は介護サービスの基本であるということを管理者はじめ全職員が認識しており、日々のサービスを振り返りながら自己評価に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>市の担当職員や利用者・利用者の家族、地域住民の代表者等が委員となっており、定期的に開催している。内容は事業所の運営、行事、防災訓練、事故報告、地域の行事等多岐にわたって協議されており、サービスの質の向上に努めているが、2ヶ月に1度の開催とはなっていない。</p>	○	<p>運営推進会議は年間行事の中で計画（例 偶数月の第3木曜日等）し、2ヶ月に1度開催されることを望む。</p>
6	9	/	/		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に1度利用料金を請求する際に、利用者の状態や金銭管理について報告している。また、面会時には詳細に報告しており、遠方の家族には電話等で報告している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会は年に2回開催し、家族からの意見の聴取に努めており、各行事は家族にも呼びかけ参加してもらっている。また、運営推進会議も意見聴取の場として、自由に意見を出してもらい運営に反映させるよう努めている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者や管理者は利用者と職員の馴染みの関係の重要性を認識しており、職員の離職については充分配慮している。職員に交代があった場合には、現任者と後任者が一緒に利用者との馴染みの関係作りをし、スムーズに引き継ぎがなされるよう努めている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の研修については内部研修や外部研修への参加等計画的に実施している。また、職員から研修テーマの希望を聴取し、受講の機会を確保している。職員が資格取得した場合には待遇に反映させている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加盟しており、研修会には積極的に参加し、同業者との情報交換を行い、サービスの質の向上に努めている。相双地区の同業者同士でお互いの事業所を視察をしあい、交流を図っている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)	/		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の経験を尊重し、利用者からいろんなこと(料理、しきたり等)を教えてもらい、お互いに支え合いながら生活している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃から利用者や家族の意向を聴取し、生活支援計画に反映させている。また、利用者の生活リズムを把握し利用者が快適に生活ができるように職員が意見交換をしながら介護計画を作成している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員が協働でアセスメントを実施し、利用者本位の介護計画を作成している。その際にできるだけ家族と面談し、家族の意向や本人の思いを介護計画に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な介護計画の見直しのほかに利用者の状態の変化等に応じて計画の見直しを行っている。常に利用者や家族とも話し合いをしながら要望や状況の変化がある際にも見直しを実施している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)	/		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援しており、受診には職員が同行している。その結果は家族に知らせている。また、利用者の状態に応じて通院の際に家族に同行してもらい、情報の共有を図っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対する指針を定めている。利用者や家族に説明し、終末期の利用者や家族の意思を確認し同意書を得ている。また、職員全員で方針の共有をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者は職員の意識向上を図りながら、日々の関わり方を点検し、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。また、「個人情報使用に関わる同意書」について家族等に説明し、同意を得ている。職員は個人情報に関わる誓約書等により情報の漏洩防止に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の体調や思いに配慮しながら支援している。買い物や散歩等、一人ひとりの思いを大切に支援している。職員は利用者のペースを大切にして見守っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事については食材会社を利用しているが、すべて食材会社のものではなく自由メニュー（利用者の希望等）を組み合わせその時の状況に応じて決めている。近所から野菜の提供があるので、その際にメニューを変更し、季節感のあるものになっている。利用者はそれぞれできること（料理、後片づけ等）を職員と一緒にやっている。また、職員は利用者と一緒に食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一応入浴日を決めているが、利用者の希望を確認しながら入浴支援を行っている。体調により入浴できない場合には、清拭や就寝前に足浴を実施している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている（認知症対応型共同生活介護）	ホームの畑で野菜を作ったり、花を植えたりして楽しんでいる。また、塗り絵や習字等利用者の希望に応じて支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している（認知症対応型共同生活介護）	日常的に買い物、散歩等入居者の希望に合わせて支援している。季節ごとにお花見、梅花、紅葉、白鳥、ツツジ見学等を実施している。また、ホーム全体でドライブ等にも出掛け、外出の機会を多く計画し実施している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には日中は鍵をかけないことにしているが、現在情緒不安定な方がおり利用者の全家族に説明し了解を得て、一時的に鍵をかけている。		現在玄関にセンサーの設置等を検討しているとのことであるが、職員全員で目配りをし、鍵をかけないケアを実践することを望む。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年間計画に基づき、消防署の協力を得て訓練を実施している。さらに、地域の女性消防隊の協力が得られ、訓練時には参加してもらい、友好的な関係を築いている。また、災害に備えた食料品、飲料水等は備蓄されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの栄養摂取量や水分量はチェック表に記入し、利用者の健康管理に役立てている。また、利用者の状態に応じてきざみ食等で対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は一般家庭の居間の雰囲気や古い家具、神棚があり、落ち着いた雰囲気や利用者が思い思いの場所で過ごしている。また、共用空間には気になる臭いや空気のもどみなどは感じられない。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れたタンスや机等を持ち込み、利用者が過ごしやすい居室となっている。また、家族の写真を飾ったり、仏壇を持ち込んでいる利用者もあり、いままでの生活の延長がうかがえる。		

※  は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホームえくせる

記入担当者名 高橋 桂子

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。